



## 学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

## 本気の努力と仲間との絆を深める、感動あふれる二学期に！！

マナウス日本人学校 校長 中川 勝美

夏休み期間中は、大きな事件・事故の発生もなく、二学期のスタートを切ることができました。これもひとえに、保護者、日本文化振興会および関係機関の皆様の温かいご支援とご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

二学期には、アマゾン体験学習、水泳記録会、学習発表会、長距離走大会と大きな学校行事がたくさんあります。子供たちにとっては、一人一人が新たな目標を持ち、個々の資質や能力を高めるとともに、力を合わせながら共通の課題を達成する喜びや充実感を味わえる絶好の機会となります。

また、節目となる学校行事等を通じて、友達の大切さに気づき、互いの喜びや悲しみを共有できる揺るぎない信頼関係を築いていきたいと思えます。

さらに、二学期は、学ぶ学期として、目標達成に向けて、努力を継続する資質や能力を高めるため、授業に向かう姿勢や家庭学習の充実を図る教育活動に取り組んでいきます。

この二学期に、子供たちには「本物の努力と感動」を味わってもらいたいと思えます。そのために、子供たちには、つらいと逃げ出したくなったり、出来ないのは相手のせいにしたくなったりする弱い自分と向き合い、自分の力に限界を決めないで、「本気の努力」で己に勝ってほしいと思えます。その過程の中から実感を持った本物の感動を手にすることが出来るはずです。

また、感動は友達とのつながりの中でその質が高まっていきます。チームで苦勞を共有し、互いを認め合い支え合う中から「本物の感動」がより一層深まっていきます。

二学期は、本物の努力と感動をめざして、次の三つのことを重点にして、教職員一丸となって努力していきます。

### ◎一つめは、＜感動ある授業で頭を鍛えます。＞

授業にさらに集中し、よく話を聴くこと、自分の意見を発表すること、ていねいにノートを書くこと、話し合うことで考えを深め合うことを鍛えたいと思えます。また、宿題や家庭での自主勉強もきちんとできるようにしたいと思えます。

日々の小テストや繰り返し学習など学習内容の定着を図る習得学習に取り組めます。

### ◎二つめは、＜学校行事で心と体を鍛えます。＞

9月1日～2日にはアマゾン体験学習、9月29日には水泳記録会を実施します。

また、11月17日には、学習発表会を実施します。さらに、12月1日には、長距離走大会を実施します。これらの取り組みを通して、個人の努力とチームの集団力を紡ぎながら、心と体を鍛えたいと思えます。

さらには、しっかりと朝食をとること、睡眠時間をきちんととること、ゲームやテレビの時間を少なくすることなども心と体を鍛えるには大事なことです。家庭でもより一層お子さんの心と体をはぐくんでいただきたいと思います。

### ◎三つめは、＜生活をさらによりよいものにしていきます。＞

「あいさつを大きな声で進んでする」、「あたたかい、すてきな言葉遣いをする」、「いじめは、どんな理由があっても絶対しない」、「清掃活動で、きれいな自慢できる学校にする」などマナウス日本人学校の確固たる伝統となるように、委員会活動と連携しながら指導していきます。

マナウス日本人学校だからできること、マナウス日本人学校でしかできないことがたくさんあると考えています。子供たちの心が湧き上がるダイナミックな行事を軸に、一日一日を丁寧に重ねていきたいと思えます。二学期も、子供たちのより一層の成長のため、ご支援とご協力をよろしくお願ひします。